

ニッポンクラウドワーキンググループ 紹介資料

2024年7月現在

V2024.07.02 (84/20)

名称

ニッポンクラウドワーキンググループ
NIPPON Cloud Working Group (N C W G)

設立

2011年 11月1日 設立/活動開始

但し、実質的な活動については、2010年11月1日から前身の会である「ニフティクラウドワーキンググループ」として1年間活動を行ってきました。

ニッポンクラウドワーキンググループ参加構成（2024年7月時点）

- メンバー企業 84社
- サムライクラウドサポーター 7人
- 協賛企業 20社

日本国内でクラウドビジネスに関わり、日本のクラウドビジネスの発展を願っている方々

ニッポンクラウドワーキンググループ設立趣旨趣意

情報を繋ぐということがコンピュータ (computer) をコンピューティング (computing) へと昇華させたことで、サーバコンピュータやソフトウェアは、オンプレミスな「所有」から必要な時に必要なだけを「利用」するクラウドへとある種のパラダイムシフトを起こしていると言っても過言ではありません。この必要な時に必要なだけを利用できるということが、「クラウドコンピューティング」だといえます。

現在、各種のクラウドサービスは、サービス提供者から個別にサービスを提供されるのが一般的です。そのため利用者は、サービスごとに接続情報を個別に管理する必要があり、サービスを横断的に利用しづらいことで利便性を欠いていると言えます。その結果、利用者がクラウドサービスを利用することへのハードルを上げているともいえます。

そこで、ニッポンクラウドワーキンググループ(略称、NCWG)は、日本国内のISV(独立系のパッケージソフトウェアの開発・販売会社)やSier(System Integrator)、および関係各社が集まり各種の業種業態に対してニュートラルな立ち位置から「クラウド」上での国産アプリケーションの評価、連携のための技術的およびビジネス的な交流を積極的に行

うことで、**日本から発信できるアプリケーションプラットフォーム(サムライクラウド)を作り上げ、それを推進力に日本のクラウドビジネスのマーケットを広げることを目的**に設立することになりました。

ニッポンクラウドワーキンググループが前身の団体から進めている**「サムライクラウド」**では、ID、UI (User Interface)、データの三位一体連携による透過的なプラットフォームを実現することで、利用者にとってシームレスなクラウド環境を提供するとともに、サムライクラウドを基軸に様々なサービスに対して**ニュートラルな立ち位置**か

らあまねくクラウドサービスとの連携を視野に入れた全てのクラウドサービスの統合クラウド、すなわち**「グランドクラウド」**の実現を目指しています。

また会の名称にあえて作業部会的なイメージの「ワーキンググループ」を使う趣旨としては、我々ニッポンクラウドワーキンググループが、「日本のクラウドビジネス全体の作業部会」として日本のクラウドビジネスのマーケットの拡大に貢献するために実のある活動をして行きたいと設立者一同が強く望んでのことであり、その強い思いを会の名称に盛り込んでのことでです。

設立に伴いニッポンクラウドワーキンググループは、協賛各社の方々からご支援をいただいておりますが、あくまでもニュートラルな立ち位置から日本のクラウドビジネスの促進を目指して活動を行うものです。ニュートラルな立ち位置だからこそ出来ること、さらにニュートラルな立ち位置でなければ出来ないことが在ると考えています。このような目的のもとにこの度ニッポンクラウドワーキンググループを設立いたします。

NCWGについて

目的

日本のクラウドビジネスマーケットの拡大

- ・アプリケーション連携技術の開発・共有（サムライクラウド）
- ・日本から発信できるクラウドビジネスモデル（サムライクラウド）の構築
- ・クラウドビジネス促進のための場創り

グランデッドクラウドからグランドクラウドの実現へ

- ・あまねくクラウドサービス、さらにオンプレミスな環境までをも取り込んだ「統合クラウド環境（グランドクラウド）」の実現
- ・ベンダーニュートラルな立ち位置での活動及び提言
ベンダーニュートラルだからこそ「やれること、やるべきことがある」

研究部会活動

- ・サムライクラウド部会
- ・クラウドビジネス推進部会
- ・クラウドアプリケーション部会

サムライクラウド

- ✓ 日本から発出するクラウドビジネスモデルの構築を意義としての「サムライクラウド」
- ✓ IDやアプリケーション、UI、DATA連携など日本から発出できるクラウドサービスの技術的意義としての「サムライクラウド」

グラウンドクラウド構想

- ✓ サムライクラウドの理念を基軸に、ニュートラルな立ち位置から、あまねくクラウドサービスの技術的ビジネス的連携を実現し、全てのクラウドサービスを統合的に利用可能とすることで、あらゆる利用者にとって高い価値と利便性をもたらす

ニッポンクラウドワーキンググループ 2024年度スローガン

Beyond the Clouds 24 !

『クラウドケイパビリティを高め、
次のクラウドビジネスをつかむ！』

➤ 2024年度の活動方針

ニッポンクラウドワーキンググループが、参画各社に対して、クラウドビジネスに有効な「情報提供」や「意見交換」の場を提供するとともに、クラウドビジネスに有用なネクストテクノロジーの情報提供および次世代を担うクラウド人材を育成する場を提供し持続的なクラウドケイパビリティ（クラウドサービスの提供能力と利活用能力）の獲得に努める。

さらに、参画各社のクラウドケイパビリティを繋げることで、次のクラウドビジネスの創出を目指す。

➤ 基本的な活動方針

- クラウドサービスの利便性向上によるクラウドビジネスモデルの価値拡大
- 日本のクラウドビジネスのマーケットの拡大

参加各社のクラウドケイパビリティの掛合せ相乗効果(結)を基に、クラウドビジネスモデル(=サムライクラウド)の質(実)の向上と価値拡大による日本のクラウドビジネスの枠を少しでも広げること(結実)を目指す。

ニッポンクラウドワーキンググループとしての 「クラウドサービス」の定義

『インターネットを介して利用
する経済的な価値提供機能』

ケイパビリティ (Capability)

- 高い品質や迅速なスピードなどライバル企業よりも優位に立てる能力
- 企業全体が持つ組織的な能力

➤ 企業が得意とする能力

- 企業成長の原動力となる組織的な強み能力
- 他社との差別化を図り持続的に競争に勝つ能力

クラウドケイパビリティ

『企業が得意とするクラウド提供能力およびクラウド利活用能力』

➤ 会の在り方として

ベンダーニュートラルな立ち位置だからこそ可能な活動によるグランドクラウド構想の促進およびクラウド全般のユーザー利用のための利便性の向上とクラウドサービス提供クラウドの利活用の促進に努める。

さらに会の活動を通して、会員各社の“知らない”ことによるクラウドビジネスの機会損失の防止に努める。

また、会の規模については、質を高めながら引き続き緩やかな拡大を目指す。

➤ 2024年度活動概要

1. 会合および部会開催、各種セミナーの実施、クラウドビジネスイベントの開催、クラウドビジネス関連施設の視察
イベントについては、リアルとオンラインでの「ハイブリッド」開催
2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用の実施
3. 「協賛支援セミナー」および「クラウドビジネス協業支援セミナー」の開催支援
4. 他団体への活動支援による積極的な交流、および、積極的なクラウド利活用の啓蒙
5. クラウドビジネス・テクノロジーの将来を担う**クラウド人材の育成**
6. サムライクラウドサポーターの拡充
7. アクティブメンバーシップの拡充
8. 理事会および実行委員会の開催

➤ 2024年度役員および理事

- 会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)
- 副会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)
- 副会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)
- 理事 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)
- 監事 大澤武史(株式会社ブライエ)
- 事務局 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)

➤ 各部会役員

■ サムライクラウド部会

部会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)

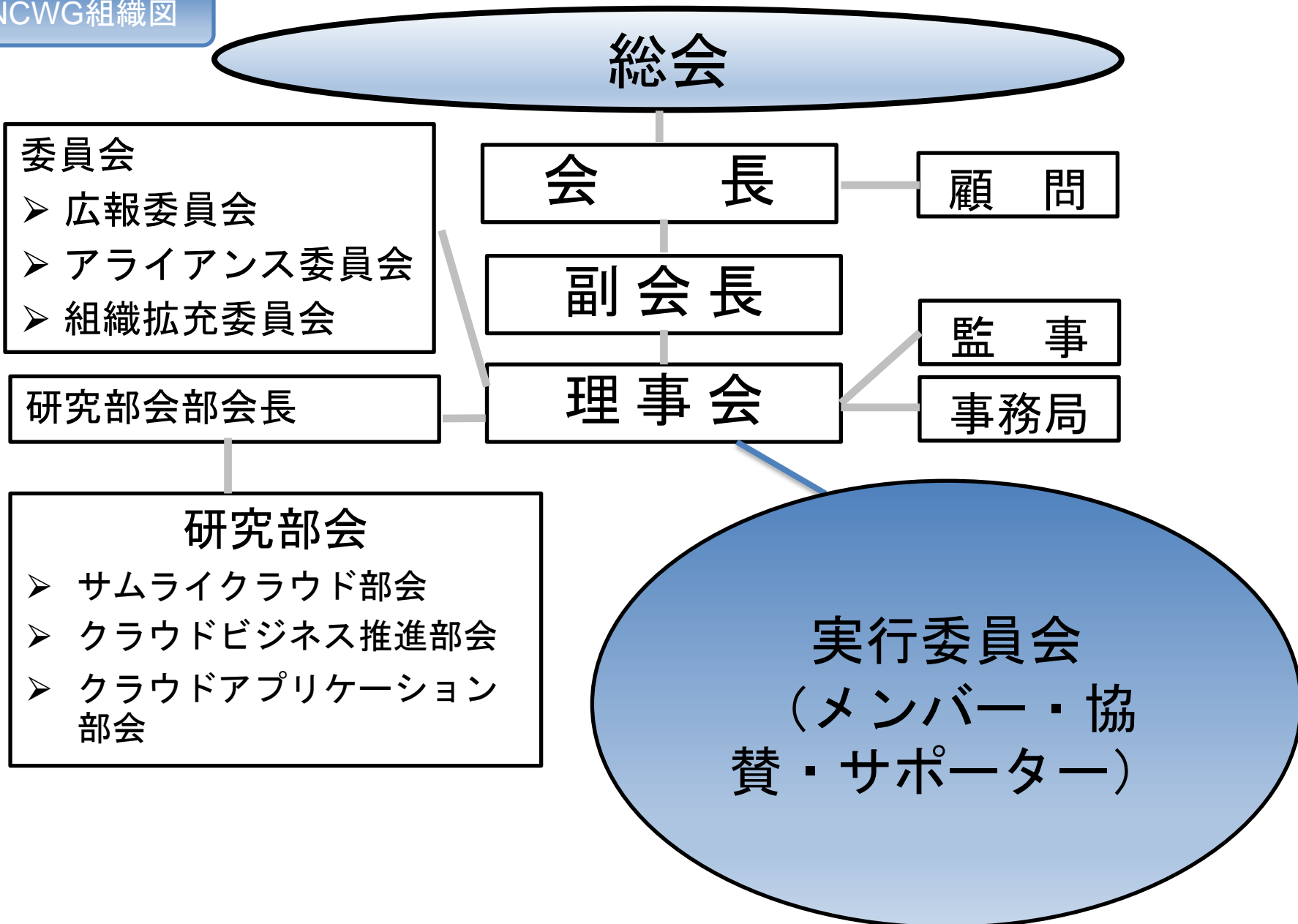
■ クラウドアプリケーション部会

部会長 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)

■ クラウドビジネス推進部会

部会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)

NCWG組織図



➤ 2024年度会合及びセミナー開催について

- 参画各社によるクラウドビジネス協業促進のための場として、リアルとオンラインのハイブリッドにて会合を開催する。
- 会合およびセミナー、講演会等の活動については、計年6回以上の開催を予定する。
- 各社の「強み」を積極的に表出し、それを共有するための発表機会の場を多く開催する。
- 各種研究部会からアウトプットを積極的に行い、実クラウドビジネスに役立てる。
- 単方向の情報提供だけでなく、双方向のコミュニケーションの場を積極的に企画・提供する。

アクロニス・ジャパン株式会社	佐野 雄也/後藤 匡貴
株式会社アルティネット	宮原 哲也
エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社	田邊 義隆
株式会社オープンウェブ	尾鷲 彰一
株式会社クオリティア	佐々木 泰
有限会社シェルンコアテクノロジー	藤田 浩之
株式会社DTS	木村 翠
有限会社ディアイピィ	野元 恒志
株式会社ドヴァ	井口 和彦/放生 浩一
株式会社ブライエ	大澤 武史/内田 龍/ 横手 広樹/水木 真一
株式会社北斗システムジャパン	小堀 吉伸
株式会社レイコム	松尾 光一

12社(17人)

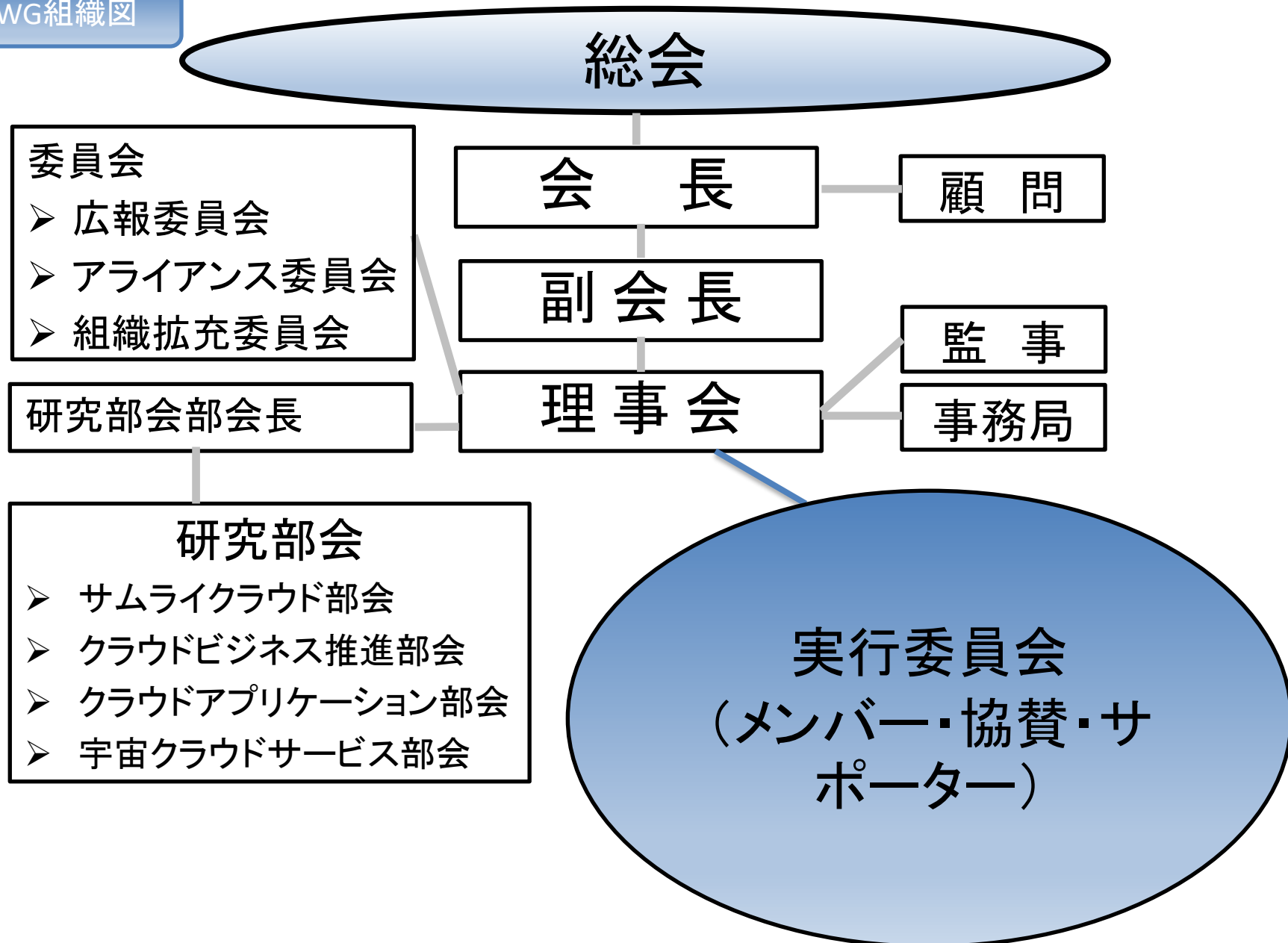
1. 株式会社アイロバ
2. アイシーティーリンク株式会社
3. 株式会社アーク情報システム
4. AXLBIT株式会社
5. アクロニス・ジャパン株式会社
6. アシアル株式会社
7. 株式会社アスペックス
8. アドソル日進株式会社
9. アルゴブレイン株式会社
10. 株式会社アルティネット
11. イナゴ株式会社
12. 株式会社インターファクトリー
13. 株式会社インフォザイン
14. 株式会社エアー
15. 株式会社エイチ・ピー・エス
16. 有限会社エイト
17. SMBアソシエイツ株式会社
18. 株式会社エスプリ
19. NOS株式会社
20. 株式会社エムキューブ・プラスハート
21. 株式会社エル・ティー・エス リンク
22. オプコ株式会社
23. 株式会社オープンウェブ
24. 株式会社オレンジソフト
25. カームコンピュータ株式会社
26. 株式会社カラーチップス
27. 株式会社ギデオン
28. 株式会社クオリティア
29. クラウドサーカス株式会社
30. 株式会社ココト
31. コネクト株式会社
32. 株式会社ゴーガ
33. 株式会社サーバーワークス
34. サイオステクノロジー株式会社
35. 株式会社サテライトテクノロジーズ
36. ジェイズ・コミュニケーション株式会社
37. 有限会社シェルンコアテクノロジー
38. JIG-SAW株式会社
39. 株式会社システムフレンド
40. シックス・アパート株式会社
41. 株式会社シムトップス
42. 株式会社スカイアーチネットワークス
43. 株式会社スクロール360
44. 株式会社SOLA
45. TOWN株式会社
46. 中央システム株式会社
47. ツバイソ株式会社
48. 株式会社テッキーズポッド
49. DXプラナ合同会社
50. 株式会社DTS
51. 有限会社ディアイピィ
52. 株式会社ディーアイ・ネクスト
53. 株式会社ドヴァ
54. 株式会社ニッコム
55. 日本クラウドファイリング株式会社
56. 日本シー・エー・ディー株式会社
57. 株式会社ニューフォリア
58. ネオス株式会社
59. 株式会社ねこじやらし
60. ネットエージェント株式会社
61. ネットワンシステムズ株式会社
62. ハマゴムエイコム株式会社
63. ファイルフォース株式会社
64. 富士ネットシステムズ株式会社
65. 株式会社ブライエ
66. 株式会社ブリッジ
67. Fullon株式会社
68. 株式会社FLAMA
69. 株式会社プロキューブ
70. 株式会社ブロードバンドセキュリティ
71. 株式会社ベッコアメ・インターネット
72. HENNGE株式会社
73. 株式会社北斗システムジャパン
74. 北陸通信ネットワーク株式会社
75. 株式会社マキシマイズ
76. 株式会社ムービット
77. MOST株式会社
78. 株式会社ユーエスイー・ビジネスソリューション
79. 株式会社ユニリタ
80. 株式会社リザーブリンク
81. 株式会社レイコム
82. 株式会社ROCKETWORKS
83. 和丘株式会社
84. 早稲田システム開発株式会社

★サムライクラウドサポーター

- 情報セキュリティ大学院大学 学長 後藤 厚宏
- 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター客員研究員 林 雅之
- 学校法人岩崎学園 情報科学専門学校 教務部長 川上 隆
- 大阪大学 大学院 理学研究科 准教授 鈴木 譲
- 次世代宇宙システム技術研究組合 代表理事 山口 耕司
- 一般社団法人 宇宙エレベーター協会 代表理事(会長) 大野 修一
- 株式会社DataWisdom代表取締役 大場 智康(理学博士)

1. GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
2. NTTコミュニケーションズ株式会社
3. カゴヤ・ジャパン株式会社
4. 株式会社リンク
5. スリーハンズ株式会社
6. 株式会社NTTPCコミュニケーションズ
7. ビッグローブ株式会社
8. 株式会社インターネットイニシアティブ
9. 株式会社フューチャースピリッツ
10. 株式会社ブロードバンドタワー
11. スターティア株式会社
12. 株式会社シーイーシー
13. さくらインターネット株式会社
14. NTTスマートコネクト株式会社
15. 株式会社クララオンライン
16. 株式会社アット東京
17. 富士通株式会社
18. KDDI株式会社
19. BBIX株式会社
20. 株式会社コンピュータ

NCWG組織図



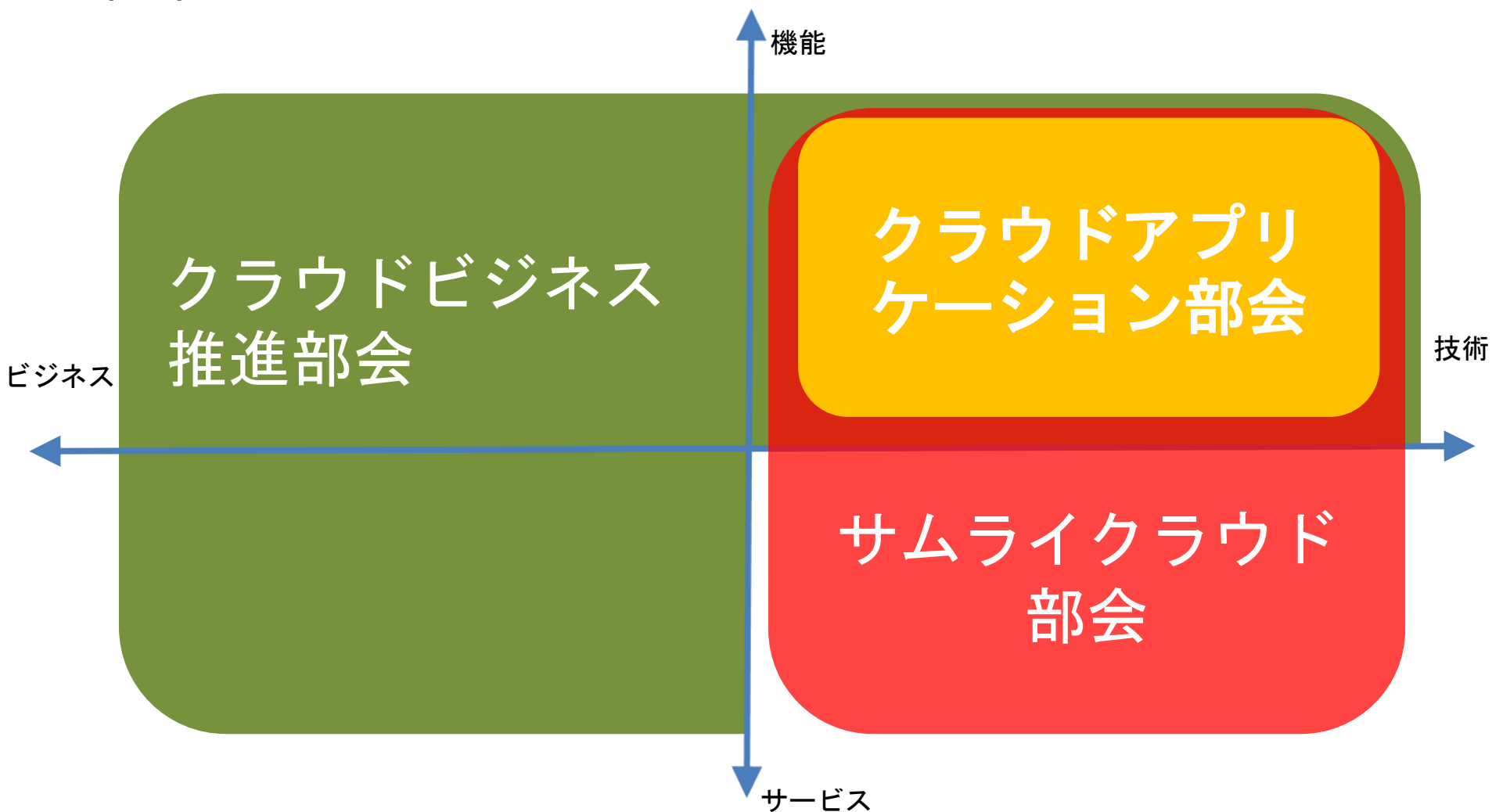
➤ 2024年度活動部会

- サムライクラウド部会
- クラウドアプリケーション部会
- クラウドビジネス推進部会

- ✓ 部会活動については、オンラインとの併用で定期的な活動を行いながら、成果としてのアウトプットを行う。
- ✓ 部会長連絡会や共同部会開催で密に連携を図り、より効率的に成果がアウトプットできるように努める。

2024年度の部会活動

■各部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出

会合およびセミナー等の風景



NCWG報告会及び設立周年記念講演会・パーティ



NCWG報告会及び設立周年記念講演会・パーティ



NCWG報告会及び設立12周年記念講演会・パーティ



ニッポンクラウドワーキンググループ 2024年度スローガン

Beyond the Clouds 24 !

『クラウドケイパビリティを高め、
次のクラウドビジネスをつかむ！』